



発行人
静岡県立静岡商業高等学校
同窓会 関東支部
(静商同窓会関東支部)
〒105-0022
東京都港区海岸1-2-1-1105
TEL & FAX
03-5777-4088

編集
関東支部広報部会
平成24年5月28日発行
(毎年1回・5月発行)
題字 湯本克己氏
第21号

23年度静商同窓会関東支部総会開催

テーマ 元気・ふれあい・語り合い

23年度静商同窓会関東支部総会が23年7月9日(土)、東京プリンスホテルで開催されました。

母校からは、太田仁美教頭先生、恩師永田峰雄先生、平野健市同窓会会長はじめ役員5名の方々の出席を戴き、また恒例となったブラスバンドOB、応援団OB、チアリーダーOG

も静岡から駆け付けていただき、関東支部同窓生あわせて約190名の総会が始まりました。

議事は、報告事項から始まり、会計報告、予算案等すべて満場一致で承認されました。

今回の総会は、2年に一度の役員改選時期にあたり、6期12年務めていたいた海野昭支部長が任期満了で退任され、新支部長に宗野治義さん(32年卒)、副支部長に吉澤英夫さん(38年卒)



が選任されました。吉澤英夫副支部長は、組織部会長兼任です。

総会終了後、集合写真の撮影を挟んで懇親会に入りました。

元気に大ジャンケン大会を開催し、優勝者の関塚仍子さんは、優勝賞金を会場に設置された東日本大震災義援金箱(ふれあい)に絆



め、ゆっくりと語り合い、旧交を温める時間が多く取ることができ大変好評でした。

ところが、ブラバンドBによる演奏、応援団OB・チアリーダーOGによるパフォーマンスが始まると会場は一変し、老若男女肩を組み、列を作って踊りだし、興奮の坩堝と化しました。テーマである「元気・ふれあい・語り合い」のとおりの懇親会でした。



新支部長就任のご挨拶

「原点は静商」

宗野 治 義

50年以上勤めた企業より 静商3年間に深い親しみ

私は23年7月の静商同窓会関東支部総会において、海野支部長から支部長職を引き継ぎました。

昭和32年に静商を卒業と同時に関東地区の企業に就職し、既に50年以上を経過しました。同窓会活動に参画したのは、同期生からの要請でお手伝いのつもりで始めたのですが、いつの間にか20年近い付き合いになりました。

海野支部長の云われる「出来る人が、出来る事を、出来る範囲で少しずつ担う」という趣旨に沿って携わってまいりました。

定年退職後は多少時間の余裕が出来ましたので、何か社会に役立つ事をやりたいと考え、母校の為に積極的に同窓会活動に参画する事に致しました。

同窓会への参加は働き盛りの企業人からは敬遠され、また新卒者からも無視される傾向がありますが、私は今、自分の原点が「静商」にある事を強く感じています。企業人としての生活に

おいては、静岡から離れた事もあり、母校の事は殆ど思い出す暇もなく、一途に仕事に明け暮れていました。しかし、退職後に考えた事は、企業人として、このように長く働く事が出来たのは、「静商」を卒業して、企業に就職する事が出来たからだ。静商に通っていただければ今の生活は出来ていなかったのだと痛感しました。人それぞれ考え方がありますが、私の70年を超える人生においては、50年以上勤めた企業よりも、3年間しか通っていないが母校の方が何か判りませんが、深い親しみを感ずるようになりました。これが私の同窓会に対する

率直な気持ちです。

同窓会活動の活性化としての私の抱負は、関東支部の会員の皆様と積極的なコミュニケーションを図る為に、インターネットを充分に活用する事にあります。現状のホームページでは満足しておりません。口で言う事は簡単ですが、この運営は非常に手数がかります。しかし会員の皆様のご協力があれば、皆様に喜ばれる、多数の方が参画されるようなネット社会が構築されております。現役バリバリの企業人の方や大学・専門学校へ通学中の新卒者の方々が多数参画される事を期待致します。

東日本大震災で被災された方々にお見舞い申し上げます
一日も早い復興をお祈り申し上げます。
静商同窓会関東支部では被災者支援の募金活動をしてまいりました。義援金165,333円は、日本赤十字社を通して被災された方にお届けしました。
ご協力いただきました皆様に感謝いたします。

平成24年度
関東支部総会
懇親会
7月14日(土)

詳しくは13ページをご覧ください。

就任のご挨拶

副支部長 吉澤 英夫



昨年の総会において、副支部長に就任致しました昭和38年卒の吉澤英夫で御座います。

当初、海野前支部長からの役員立候補への強い要請に對しましては、「自分としては、これまで常任幹事等の役員の経験もなく、い

きなり幹部への立候補については、適任ではなく、まだまだ私以外に適任者がいるのではないかとお断り致しました。お断りした後、いろいろ海野前支部長と話をしましたところ、真摯な人柄、長年にわたる役員のご苦労、更には、甚だ失礼ではありますが、70歳を超える高齢などを考え合わせ

の結果、無下にお断りすることが出来なくなり、お引受けすることになりました。一人娘が、本年4月29日に結婚し、私のこれまでの心の重荷が無くなりましたので、その分も含め宗野新支部長を助け、静商同窓会関東支部の発展のために尽力していく覚悟であります。微力ではございますが、組織部会の責任者として、静商同窓会関東支部のホームページの活用や各種同好会の活動などを通じて、組織の強化に全力で取り組んでまいりますので、会員皆様方からの組織に関する忌憚の無い意見・要望などをご

白駒の隙を過ぐるが若く二十年が経過しました。わが「静商同窓会関東支部」は、母校創立の、約九十年後となる平成三年七月六日に、創立されました。私は、この会の初代幹事長として就任し、平成十一年まで湯本克巳初代支部長のもとで務めさせて戴き、同年七



退任のご挨拶

第二代関東支部支部長 海野 昭

月の定例総会にて第二代の支部長に選任されました。以来、六期十二年務めさせて戴きましたが、昨、二十三年の定例総会において任期満了退任とさせて戴きました。

この間、会の運営に当たっては、母校の歴史からすると、後れて発足しただけに、どこにでもあるという同窓会とは何かしら「一味」違う同窓会とすることを旨指して、取り組んで参りました。

その成果として、幾多の誇りうるものがありますが、これらのことが出来たということは、多数の会員の皆様

熱く絶大なご支援、ご協力のたまものであり、加えて、常任役員、年度幹事、総会運営役員、そして同好会役員の方々の献身的な活動に支えられた結果であります。改めて深く感謝申し上げます次第であります。

昨年、新たに第三代支部長として、宗野治義さんが就任されましたが、これからも、皆様の温かいご支援を戴き、関東支部が、益々発展していくことを祈念して、お礼のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

平成23年度静商関東支部総会・懇親会にて

青春を思い出させる一日に！

当番幹事 林 和義（43年卒）



京・仙台・名古屋そして東京と、行く先々で女と知り合い

（実際は、仙台で出会った女子を愛し続けている）そんな事を思い出しながら、この同窓会に参集される皆さんに少

我が青春の大スター、舟木

一夫の「仲間たち」3番の歌詞に「手紙寄せせと言うあ

いつ、あばよくあばよと言うあいつ、口じゃ元気に怒鳴っていても、僕が故郷をたつ朝

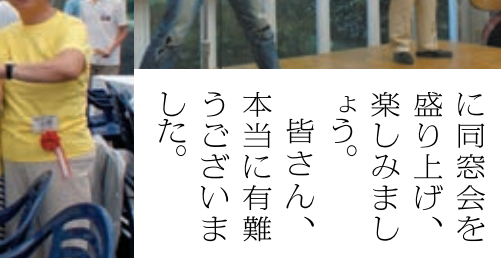
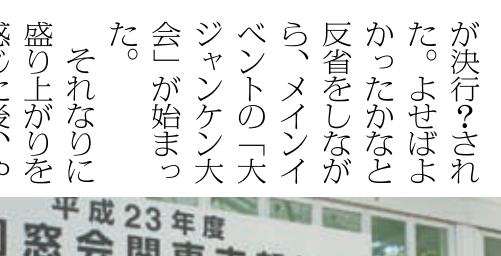
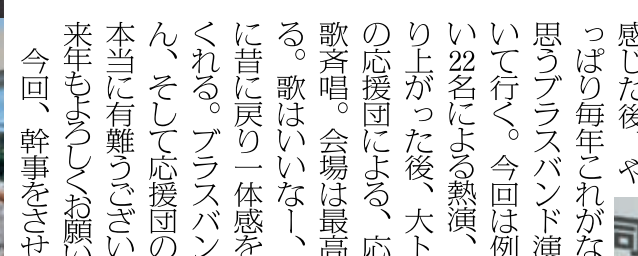
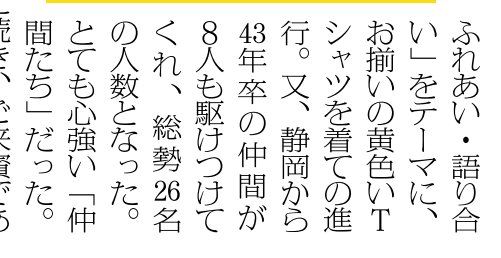
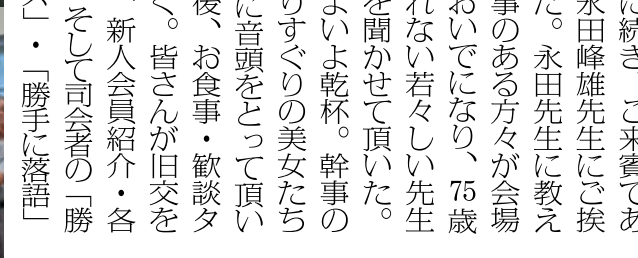
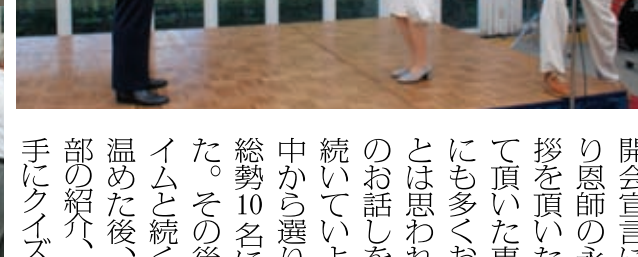
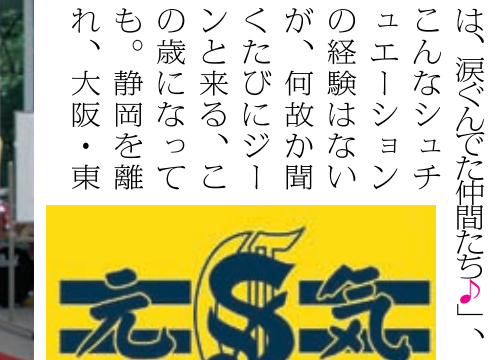
しでも青春の1ページを感じて頂く、そんな壮大な想いを持ちながら、平成23年度静商関東支部総会が始まった。今回の幹事は、33年・43年卒が担当させて頂き、「元氣・



じた事は、まず、本番を迎える為の準備を、支部長を始め支部役員の方々が幾度となく集まり、お集まり頂く皆さんに少しでも楽しんでもらいたい、色んな意見を出し合いながら決めていく大勢の支えがあって開催できるといふ事です。色んな事情で同窓会に参加が出来ない方もいらっしゃるでしょう。参加できる方は幸せだと思います。一人でも多くの方の参加をして頂く為に、一人が一人をお誘いしていったらどうでしょう。

来年は今年よりもっと多くの「仲間たち」と一緒に





は、涙ぐんだ仲間たち、
こんなシュチュ
エーション
の経験はない
が、何故か聞
くたびにジ
ンと来る、こ
の歳になって
も。静岡を離
れ、大阪・東



開会宣言に続き、ご来賓であ
り恩師の永田峰雄先生にご挨拶
を頂いた。永田先生に教えて
頂いた事のある方々が会場
にも多くおいでになり、75歳
とは思われない若々しい先生
のお話しを聞かせて頂いた。
続いていよいよ乾杯。幹事の
中から選りすぐりの美女たち
総勢10名に音頭をとって頂い
た。その後、お食事・歓談タ
イムと続く。皆さんが旧交を
温めた後、新人会員紹介・各
部の紹介、そして司会者の「勝
手にクイズ」・「勝手に落語」

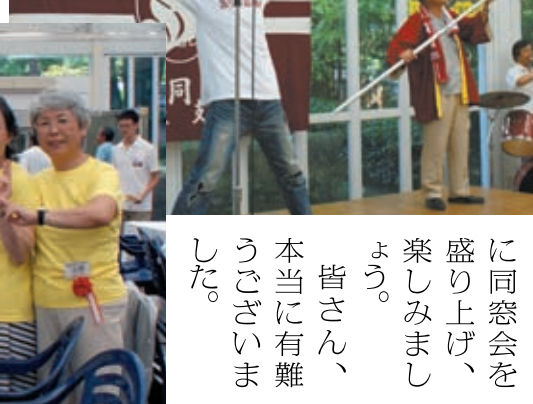
ふれあい・語り合
い」をテーマに、
お揃いの黄色いT
シャツを着ての進
行。又、静岡から
43年卒の仲間が
8人も駆けつけて
くれ、総勢26名
の人数となった。
とても心強い「仲
間たち」だった。

開会宣言に続き、ご来賓であ
り恩師の永田峰雄先生にご挨拶
を頂いた。永田先生に教えて
頂いた事のある方々が会場
にも多くおいでになり、75歳
とは思われない若々しい先生
のお話しを聞かせて頂いた。
続いていよいよ乾杯。幹事の
中から選りすぐりの美女たち
総勢10名に音頭をとって頂い
た。その後、お食事・歓談タ
イムと続く。皆さんが旧交を
温めた後、新人会員紹介・各
部の紹介、そして司会者の「勝
手にクイズ」・「勝手に落語」

が決行？され
た。よせばよ
かったかなと
反省をしなが
ら、メインイ
ベントの「大
ジャンケン大
会」が始まっ
た。



に同窓会を
盛り上げ、
楽しみまし
よう。
皆さん、
本当に有難
うございま
した。



平成二十三年、秋の叙勲で瑞宝双光章（平成十五年の法改正で等級は廃止）拝受の栄に浴しました。

十一月八日には、家内とともに皇居に参内し、豊明殿で天皇陛下下の拝謁の栄を賜っております。叙勲の理由について、上級幹部が「昭和・平成の激動期に、身命を賭して治安維持に邁進した功績が国家に認められた証左である。」と語っていますが、その過程で辛く苦しむ私を勇気づけ、明日への活力を与えてくれた沢山の高校同期生の存在があったことを忘れることはできません。

叙勲を記念し、海外クルーズの旅へ



大村隆明（S34 年卒）

この度の叙勲は、私にとりまして身に余る光栄な出来事であり、自分史に刻む大きな足跡となりました。今年に入り、叙勲を記念し、永年、私を支え苦楽を共にしてくれた家内とともに、一月二十八日から二月二十九日にかけて、豪華客船「飛鳥Ⅱ」で、アジア七カ国・十一寄港地を巡ってききました。行く先々の寄港地では、街中を忙しく行き交う人々や建設中のビル群等を目の前にし、確実に発展を遂げているアジア各国のエネルギーを肌で感じてきました。船上では、ウエルカムパーティー、ショー、ボン・ボォヤージ（出入港時のお祭り）等々優雅な催しものが日毎繰り返され、私共も非日常の世界にどっぷりと浸かって船旅を満喫

してきました。一方、非常識で傲慢な態度を取る人を目にする等様々な人間模様が繰り広げられる世界でもあり、さらには現代社会の縮図を見ているような錯覚に陥ることもありました。

このような世界にあって、北海道のロータリークラブ会長歴のある同世代の男性と意気投合し、数十年来の知己の如く親交を深めることができたことは、古希を迎えた人間には稀有な、過ぎたことではないかと思ふ縁を今も思い出しているところです。

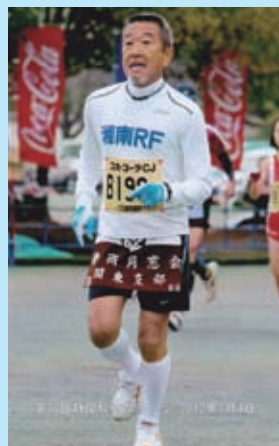
この度の叙勲と高校同期生との交わり・船上での新たな男性との出会いが、私の今後の人生を更に、心豊かにしてくれるでしょう。



4年前60歳、還暦の想い出にと参加した地元開催の湘南国際フルマラソン、以後タイム更新を目指して日々走り込みをしている今日この頃。

静岡在住の同期から「駿府マラソン」に出ませんか、との誘いにのり、3月4日に参加してきました。

母校近辺がコースの「駿府マラソン」走ってきました



福島正五（S41 年卒）

城内中学校で着替え、市庁舎前をスタート。3 Km 付近ではいつも野球応援で一緒に走る先輩「旗振りおじさん」とM氏による母校・応援旗のありがたみに応援。また、安倍川橋付近（汽車通仲間のたまり場・あべかわ餅の店）・折り返し20 Km 地点では同期の

部活仲間の応援、M氏そして同期、またまた、「旗振りおじさん」母校応援旗での応援。タイムは1月22日に参加した千葉マリンマラソン・ハーフの自己新には及びませんが、静岡での45年振りのランを満喫しました。

当日は、応援部会長の長谷川先輩の了解をいただき、「静岡同窓会 関東支部」の応援小旗を身に付けて走らせていただきました。

とにかく、「メタボ」だったオイラ、ランニングを始めて体重・10 Kg 減、ウエスト・10 Cm 減、健康の為、みなさま是非ランニングを始めて下さい！



見城監督を囲む懇親会に参加して

渡部広志（S49 年卒）

球春間近の2月25日（土）に有楽町・数寄屋橋の「さがみ」にて応援組織の静岡野球部ネット会主催（関東支部共催）の「見城監督を囲む懇親会」に参加しました。毎年静岡市で開催している、ファンと学校指導者との懇親会に参加出来ない関東在住のOBやネット会会員の為に、応援部会長の長谷川先輩、静岡のネット会・旗振りおじさんの安江先輩の提案に、監督も快諾しこの会が企画されました。

静岡から監督、ネット会・事務局長、そして旗振りおじさん、関東在住のネット会会員、関東支部・吉澤副支部長等16名、都合19名が集まり、楽しくそして「夏」を期待する一時を過ごしました。

監督の挨拶、「夏、頂点に立つ決意表明」に皆さん、しびれた様子でした。生徒達は、監督・コーチの厳しい指導に歯を食いしばり、夏に向かって黙々と基礎練習に励んでいるとの事でした。

今年は大野投手以来6年振りの「甲子園切符」期待できるのではと、嬉しいホロ酔いで帰宅した次第です。

関東在住OBの皆様、熱い応援で甲子園の切符、勝ち取ろうじゃありませんか！！！！



【写真・右から】

石貝、海野、大滝、大森、成岡、
藤崎、古井、堀内、山本、服部（動）、
大村、伊藤、川松、亀山、藤田

帰路に着
きました。

その後は、それぞれが
食べ、呑み、会話にと予
定の 2 時間を 30 分もオ
ーバーしお開きになりまし
た。お開きは、「また来
年も元気で会いましよ
う」の掛け声と、校歌の
斉唱、エールが行われ、

冒頭に、昨年の叙勲
で、四十数年にわたり警
視庁警察官としてその重
責を全うしたとして「瑞
宝双光章」を受章した大
村君を皆さんでお祝いし
ました。

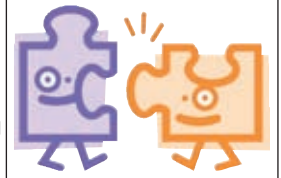
最初に、会員のうち昨
年までに鬼籍に入られた
59 名の方のご冥福をお祈
りしたのち、会長の常盤
君の開会挨拶で宴に入り
ました。

「東京辰巳会」は、東京
日比谷で 1 月 21 日（土）
に会員の約半数の 22 名が
出席して新年会を兼ねて
行われました。

小長井 武夫（S34 年卒）
「東京辰巳会」は、東京
日比谷で 1 月 21 日（土）
に会員の約半数の 22 名が
出席して新年会を兼ねて
行われました。

東 関
五十六会

藤田 実
（S30 年卒）



同期会
だより



同期会を活性化し
同窓会の輪を広げよう

辰年に集う辰巳会の面々



今年には関東支部同窓会の
年度幹事でもあり、同窓
会成功のために一致団結
して事に当たったことを誓
い閉会しました。若いと
思っていた辰巳会静商健
児も今年は 6 回目の干支
を迎え、脚・膝・腰の痛
む方も増えいつもより出
席人数も少なくなり、寄
る年波には・・・という
感じがしましたが、出席
者は人一倍元気でした。

平成 23 年 11 月 18 日 19 日
で伊豆大仁ホテルにて皆
勤者 4 名を含めて 31 名で
開催しました。15 回目の
節目の懇親会でしたの
で、千葉在住の松木さん
より記念品の贈呈があり
抽選により素晴らしい陶
器が贈られ当選者は感
激しておりました。大宴
会後の、幹事部屋での二
次会には蒲原在住の磯部
さんが毎回提供してくれ

伊豆の旅 回想記



梶山 恭一
（S38 年卒）

る、生桜海老、生しらす
と、毎回手料理を持参し
てくれる焼津在住、稲盛
さんの今回提供の「なが
らみ」で大いに懇談が盛
り上がり大仁の夜は終わ
りました。



伊豆大仁ホテル前に全員集合

同期会アンケートを実施

静商同窓会関東支部広報部会は、組織部会と共同で同期会開催
状況のアンケート調査を実施しました。関東支部の 27 年卒業以
降の年度幹事を中心に 78 名の方々にご協力をいただきました。

その結果、同年度回答率（同期生複数回答）83%という高い
回答をお寄せいただきました。

また、年度別の同期会開催状況判明率は 73%に達しました。
（対象年度母体 33 回答年度数 24）

- 過去に同期会を開催している 18
 - ① 毎年開催している 7
 - ② 2～3 年ごとに開催している 4
 - ③ 3 年以上前に開催している 7
- 開催したことがない 6
 - ① 開催したことがないが、今後検討したい 2
 - ② 特に開催したいとは思わない 4
- 同期生の消息を知りたい 7
 - ① 過去の開催のため、現在の消息を知りたい 4
 - ② 今後開催を検討したいので、消息を知りたい 3

回答いただいた年度 24 に対して 18 の年度の方が同期会を開
催しておりました。特に開催したいとは思わないと回答された
方々は、親しい同期生と時々飲食していると回答されました。

同期会の開催を今後検討したいと回答した年度の方や、かな
り以前の開催なので同期生の消息を知りたいという年度の方が 7
ありました。

同期会を開催したい年度の方や同期の消息を知りたい年度の
方に対し、関東支部として応援しますので組織部会へ連絡をして
下さい。

連絡先：組織部会長 吉澤英夫

電話 03-3720-3870 Eメール yff33334@nifty.com



関東40会

原 初典
(S40年卒)

昭和40年・第66回卒業同期会を、卒業15年目に当たる昭和55年に立ち上げました。各クラスから5〜6名・合計41名の幹事を決め、2クラス1組で当番幹事となり、1年半ごとに、学校長、恩師、同窓会長のご出席を仰ぎ静岡市で開催しています。昨年も10月22日に約100名が出席、「浮月楼」で開催し、関東支部からも15名程出席していました。

一方、関東に於いては、14年前の関東支部総会当番幹事が契機となり、「関東40会（関東ヨシマル会）」を立ち上げました。静岡で開催の中間時点1年半サイクルで同期会を開催してきました。しかし開催時期が7月の関東支部定期総会と近くなる事が多く、結果として「関東40会」には出席するが、関東支部定期総会には出席しないという人が出てきたため、4年前から関東支部定期総会兼「関東40会」とし、関東支部総会終了後、同期の田辺さんが経営する「シーボニア・メンバーズクラブ」で「関東40会」を開催してあります。

東40会」を開催しております。従って、関東支部定期総会出席者は原則「関東40会」出席と「関東40会」も盛況です。

結果としてこの試みは成功し、毎年少しずつ関東支部定期総会への出席者が増え、また、昨年の招待恩師・永田峰雄先生が、わが同期が大変お世話になった恩師ということもあり、昨年の定期総会出席者が卒業年次別トップと私の念願がかないました。

また、関東支部定期総会には、毎年同期の安江君が静岡から「我が66回卒業生の有志」が作成した応援旗（写真参照）を持参して総会を盛り上げております。



今年も出席して応援団パフォーマンスの折、大いに盛り上げてくれることを期待しております。

これからも、関東支部定期総会兼「関東40会」を通じて同期の絆を強めていきたいと思っております。

従って、本誌を読まれて、今まで何らかの事情で関東支部定期総会に出席出来なかったとか、しばらく出席されてない方、是非とも出席して下さい。出席者全員で歓迎します。

湯けむり研究会



42年同期会

高塚年明 (S42年卒)

今回は、平成23年11月27、28日の一泊二日の日程で下田に向かった。お宿は「下田クロシオホテル」、コンクリートの打ちっぱなしの作りで築14年とのこと。しかし、外観、内装ともに綺麗で14年経過しているとは思えなかった。料理も満足できるレベルでお薦めです。宴会の後は恒例のカラオケ大会。芸人も多く、貸し切りの2時間では物足りない状況であった。その後は幹事部屋で少年少女に戻り、昔話に花が咲いた。



クラブ活動や、通学時の思い出、担任の先生の話題などで12時を過ぎてしまった。翌日はペリーロードなどを散策し、下田の雰囲を味わった。

我々、団塊の世代も多くは一線を退いている。大切なものは健康、友人、適度なお金である。毎年、同期の仲間が互いに健康を確認しつつ、語り合うのは実に楽しいことである。さて、第12回はどこへ行こうか、今から楽しみである。



43年同期会

長橋 修
(S43年卒)

平成23年7月7日の静岡同窓会総会の後、引き続いてシーボニアにて同期会を開催しました。

総会懇親会の年度幹事の担当を終えたばかりだったので、安堵感で気持ち良く酔いが回り、「次回も元氣よく参加しよう」と言ったことだけが鮮明に思い出されます。




49年同期会

高山 房之 (S49年卒)

3月16日（金）に東京駅近くの八重洲の居酒屋にて同期会を開催しました。

今回は、残念ながら5名の出席に終わってしまいました。しかし、集まったメンバーは上下の関係も無い同期だけに、言いたい事も遠慮も無く、普段の仕事や家庭の鬱憤をおしゃべりで晴らす事が出来たのではないかと思います。昔の恋話も出て、赤面(?)してしまいう場面も...。一次会では飽き足らずにカラオケへ二次会に繰り出し、時間が許す限り楽しみました。



今回は参加出来なかった同期の秋田秀幸君が、中央大学の硬式野球部監督に今季から就任といったBIGニュースもあり、4月1日の公式戦のデビューにも応援に繰り出そうと盛り上がりました。

そこで、新たに参加者を募って、いざ神宮球場へ！こちらにも、参加者は静岡から参加の同期と先輩を含め7名で中央大の秋田監督の応援へ！

試合開始前には監督との挨拶も叶い、就任のお祝いの花束も渡せて感激！延長15回の3-2のサヨナラ勝ちに、寒さも忘れ、皆で抱き合って喜びを分かち合いました。静岡出身の羽山遊撃手（2年）も9番打者ながら6打数4安打1打点の大活躍で勝利の立役者の一人でした。試合後に羽山君とも話しができ、しっかりと対応も出来る上に本当にイケメンで、皆すっかりファンになってしまいました。原稿を書いている今現在、中央大学は勝ち点2で首位にいますが、静岡（春季中部地区2位で県大会出場）同様に関東在住者のみならず本部の方々の応援もお願い出来れば嬉しく思います。

中央大の秋田監督（同期）を応援に神宮球場へ



40周年に向け 箱根に22名が結集

2011年11月12日
(土) 13日(日)に、箱根強羅「あおい荘」において、S48年卒同期生が、22名(関東から7名)が集まり、卒業40周年同期会に向けた打ち合わせ会を開催しました。

議題は、2013年予定の40周年記念行事を2015年に同窓会本部の当番幹事回ってくる関係から、1年前倒しをして本年2012年に開催しようという案でした。夕食をとりながらの和気あいあいの話し合いの中、本年11月3日(土)に開催を決定。場所を移し二次会は久々に再会した同級生との懇親会、それぞれが持ち寄ったお酒に酔いながら楽しいひと時を過ごすことが出来ました。翌日はケーブルカーとリフトで大涌谷へのミニ観光、何度か行った大涌谷でありましたが、同級生と食べる温泉卵は、60歳を少し前にして、年を取ってもこのつながりを大切にしていきたいと思わせる食感でした。

十一月三日に再会しよう



お江戸散歩

浜離宮
浅草

私たち同期会は、2か月に1回(奇数月)に定期的に開催している。7月は関東支部総会、1月は同期が経営する寿司屋で新年会、残りの4回は、神田「てん亭」という店に集まり、一杯飲みながら思い出話や近況を語り合う。

だが、年々老いて酒量も下降線、女性にとっては酒の席や夜遅くなることもあって敬遠したので、なかなか参加しづらかった。しかし、昨年から幹事持ち回りで、飲み会の前に「お江戸散歩」という昼間の企画を始めた。今回で6回目。前回同様、増田さんと一緒に昼間のみ参加した。



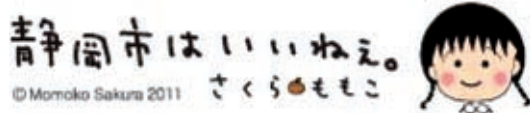
今回は「浜離宮・浅草」のコースを尋ねるといふ。新橋駅に集合し、まずは、徳川家の庭園を、シニア料金で入園し、一時間ほど散策した。そのあと、水上バスに乗船し、修学旅行生、外人観光客と一緒に、隅田川を渡る。「東京スカイツリー・ビュークルーズ」と吾妻橋から言問橋間の隅田川両岸の堤を「ゆらゆら散歩」。5月22日開業前の東京スカイツリーをいろいろな角度から眺めた。途中ビューポイントでは、道行く若者にお願いで、写真を撮りまくった。

関東支部会報のバックナンバーを納めたCDあります。



総会会場
500円で頒布
します
限定10枚

広報部会



静岡から来ました

S38年卒 山本 文雄

「人生いろいろ」の言葉がありますように、セカンドライフは東京でエンジョイしようと、故郷静岡からやってきました。早速静商同窓会関東支部の門を叩き、懐かしい同期生と再会し感激いたしました。いつも関東支部より情報誌をいただき、イベントの企画、仕掛けづくりがユニークで懇親会など楽しいムードで満喫いたしました。ありがとうございました。関東支部会員のみなさん、いまふるさと静岡を思い出すとき、ぜひ静岡の秋の風物として全国的にも定着した「大道芸ワールドカップ in 静岡」をご覧ください。ひと味違った静岡を感じることでしょう

現在の 静岡市章

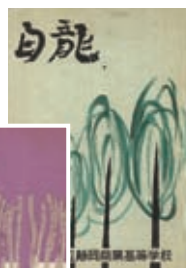


静岡・清水、そして新「静岡市」の頭文字「S」を発想の基に、自然と都市機能が見事に調和した豊かな都市イメージを表現しています。

日本のシンボルである富士山と駿河湾の波のシンブルな造形が、活力あふれる未来、交流・連帯を基盤に飛躍する新しい都市、広がる市民の豊かな暮らしを感じさせます。

シンボルカラーの「ブルー」(スマルト)は、清潔感と透明性を表し、空や海のようにどこまでも続く国際性、開放感を表現しています。

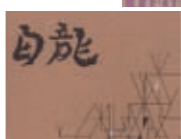
辰(龍)年の新年に、高校時代のアルバムを整理していたら「白龍」という小冊子(約80~100ページもの)を見つけた。昭和32年創刊で、毎年2月発行していたようだ。静商時代に想いを馳せながら懐かしく読み返した。その後の発行は? 消息を知りたい。みなさんの家にもありませんか? 同窓会に持ち寄りませんか。(広報部会)



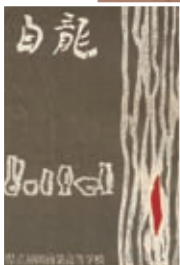
↑ 第2号
S33年2月発行



↑ 第3号
S34年2月発行



← 第4号
S35年2月発行



← 第5号
S36年2月発行

白龍
を捜せ!

発行所
静岡商業高等学校生徒会
編集
静岡商業高等学校生徒会
文芸部



(昭和 29 年田町校舎玄関)

すばらしき友たち

三森 光雄 (S29 年卒)

久しぶりに同期会 (五五会) の三十周年、五十周年の記念誌を読み返す機会を得た。時の流れを感じつつ、友の含蓄ある寄稿文にそれぞれの足跡を思う。これらを編集してくれた友の労作に感謝する。

先生方の真情あふれる寄稿文から奮起をいただく。近藤凡志先生 (担任) の語りかけに共鳴する。一部を紹介させていただく。『終戦直後より昭和二十年代、三十年代ころまでは、苦難の日本の経済時代でした。君達もよく勉強し、非行もほとんどありませんでした。』

懐しき旧講堂

内海 知之 (S29 年卒)

音楽部

戦災に生きのびた貫禄の建物で新一年生はシュトラウスⅡの「芸術家の生涯」のワルツを聞かされて、わくわく入部。翌日から上級生の練習の準備と補助の毎日。その毎日毎日が大変。曲と楽譜を見て聴いて早く一人前にと神経を研ぎすますも何十回と同じ曲、悲しいかな新一年生は眠くなり、練習曲も耳には子守歌、講堂の長椅子に横になり暫しの休息。数週間後、集合した新一年生には上級生の烈火の気合とお説教を拝聴させられました。

そして目標をもって学んだと思いませんか。人間は乏しい時代の方が、しっかりと教育がでるものです。……豊かな時代はいつまでも続きません。君達は父親として、母親として思いやり、辛抱、親孝行などの徳目を自分の子供たちに充分につけていただきたいと思います。』思い返せば、関東支部は創立以来二十一年。支部創立時には、同期の富田修一 (故人) 君、山田雅子さんらも幹事となり関東近郊に住む友たちも一致協力したことを思う。それ以来、年一回の支部総会後には同期会を開いて友情を深めている。

校内弁論大会

新二年

早々に平素無口で地味な私を弁論大会に出そうとの K 君の策略に引っかかり、級 (クラス) 全員の賛成もあつて代表に、私は人前で喋れぬと頑強に辞退するも、そこへ級担任の近藤正気先生、はじめ猫撫で声でニヤニヤ、最後はライオンの吠えるがごとく、カンカンの怒声で迫られ渋々代表にさせられた。講堂に学校全員が出席しそれもゴツイ三年生が最前列にいる。これは大変だとも思うも、発言順序は抽選で最悪の一番となり、万事休す。高い壇上に青白き新二年生はひとり、ただおろろするばかり。第一声をというよりも早く、前列席から異口同声の大声で野次りはじめる、私の声は瞬間にかき消えて終る。茫然。あ、忘れぬ一日。

思い出の写真

永井 賢雄 (S29 年卒)

私は安倍郡清沢村で育った。中学同期生五十名中高校進学五名で、当時は田舎と街と学力差があり、相当勉強しないと合格が厳しいということ、放課後補習授業を行った記憶がある。静岡は、スポーツはもとより文化面でも伝統校にふさわしい成績をおさめていた。とりわけ私達二年の時、春の選抜高校野球大会で全国優勝、しかも全試合完封の勝利には感激した。夏の静岡県大会草薙球場も、私達一年、三年の間、殆んど決勝まで勝ち進んでいた。

私達が静岡三年当時二十八、九年は大変な不景気であり、求人も少なかった。そんな中、東京吉川商店 (東京都中央区京橋三丁目六) 将来の幹部候補社員募集、応募資格、(慶応大学通信教育を学ぶ) といううたい文句で求人があり応募した。静岡から四名が入社加工食品業界で全国一、二位の存在となる。

退職後 (平成四年、平成二十二年) 菱食関連企業に勤務した。伝統を感じさせる静岡同窓会の関係者の皆様に感謝します。近況は①ゴルフ ②飲み会 ③京橋会 ④競馬 ⑤水泳 特に静岡ゴルフ同好会 (一泊) と京橋会 (一泊) は楽しみにしている。夢は競馬でミコシを的中することである。

関東 55 会
ゴルフ ↓

全国選抜高等学校野球大会で優勝し凱旋したメンバー



↑昭和 27 年・高校 2 年時 富士登山の前に静岡駅前に集う

古希 (70 歳) の集い ↓



高校生活 一番の思い出



川村 通裕
(S 29 年卒)

今から六十年前のことである。二年の春の全国選抜高校野球大会において、わが静商野球部が見事全国優勝を果たし、その偉業は終戦後十年も経っていない復興途上の中で、当時の静岡の人々に大きな感動と勇気と元気を与えてくれたものです。高校生活の中での一番の思い出となっています。

小生が静商受験を志したのは昭和二十六年で六十年以上も昔のことです。昭和二十年の戦災で焼け野原と化したあと、社会情勢も不安定な時代にあつて、進学が就職か悩んだ頃でした。中学の友人の中にも進学の志はあつても経済的な家庭の事情から進学を断念した者も多くいたという、そんな時代でした。

部活は演劇部でした。安倍川の河原で大声で行なつた発声練習やセリフの練習など懐かしき思い出されます。その他に放送部や給品部(売店)での活動も良い思い出となっています。



親友と「喜」を共に

宮川 欣也 (S 29 年卒)

田町小学校、末広中学校のクラスメートに静商の佐藤校長と牧野先生のご子息がいた。彼らは静岡に入学した。静岡には私と小林貞夫君ほか数人が入学した。特に牧野甫君とは仲が良く、合格の時は先生も大変喜んで、わざわざ家まで来て祝福してくれた。また、静岡新聞の合格者名簿の 5 番目に私の名前が載つて、近所では頭が良いと評判になったが、今考えてみると、あれは成績順ではないと思う。入学後 3 か月ごろ、一番苦手な英語の答案を牧野先生が見て、その後廊下で会つても挨拶もしてくれない。でもそれで気が楽になり、以後はのんびりと、楽しく学業に取り組めた。

卒業後、食品会社に入社し、一年後東京へ転勤。しばらくして、親友小林君が(株)平喜の東京支店に移ってきた。



今から 50 年前の「55 会」の仲間

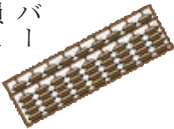
同じ食品業界の話で、朝まで酒を酌み交わした。その彼が 28 歳の時、独立して(株)玉喜を開業し活躍し、その姿に刺激され、私も一念発起する。彼から会社設立するなら「喜」という字が大変縁起が良いといわれ、(株)大喜物産と命名した。おかげで四十五年間、えることができた。親友のアドバイスのおかげと感謝している。

過ぎ来し日々

阿部 勝子 (S 29 年卒)

昭和二十六年春、教育制度改正による六・三・三制のもと、母校静商に入学いたしました。同期の女子は、約 30 名、一クラスに 3 ～ 4 名でした。私が選択した商業科目では女子は私一人。そんな時に、優秀なクラスメートに助けられ授業を受けたことが、今は懐かしき思い出です。入学時、先輩にお誘いをいただいた珠算部に入学しました。そして 3 年間、県内外の競技会に参加して技を競い合い、充実した高校生活を過ごすことができました。愛用のソロバンは、今も私の傍で活躍してくれている優れものです。

現在は、地元・さいたま市岩槻区の公益社団法人さいたま市シルバークセンターの会員として、保育園児のお弁



当作りの仕事をして、かれこれ十三年になりました。若い栄養士さんや可愛い園児に接して元気をいただいたています。そして、保育園の学芸会には、給食スタッフと一緒にハワイアン演奏をして、若い頃に帰って、楽しいひと時を過ごしています。

これからも、どんな小さな幸せも見逃さずことなく、感謝の日々を過ごしてまいります。



写真中央が筆者

59 回目の新年会

浦山 實 (S 29 年卒)

母校を昭和二十九年に卒業して以来、一度も欠かさないバレー部同期生(二九(ふく)の会)の新年会が地元で開かれた。一昨年、会の永久幹事である服部伊男(写真前列左端)を亡くした。ゴルフ、旅行、カラオケ、新年会などの計画運営を一切、彼に任せてきた仲間は茫然自失。



さて今年からは海野定男(前列左から四人目)が会を取り仕切ってくれる。ここまで長続きできたのは偏に幹事様のお陰。彼なら大船に乗ったも同然なので一安心である。九人いた仲間はこれで七人になってしまった。だが今回は服部、海野両夫人が加わって例年になく賑やかな新年会になった。

メンバーはいつも極上ワインを提供してくれる不破末次(後列左から三人目)、島田商高の元校長先生、永田峰雄(前列左から二人目)、ゴルフはシングルの實石稔(後列右端)。体調不良で不参加の荒木秀夫(後列左から二人目)、下館勲(前列右端)。それに故中村茂(前列中央)。厳しい鍛錬の結果、インターハイや国体に出場した強者共もすでに老境。だが口先だけは依然として健在の愉快的仲間ではある。

卒業アルバム

小松 英夫 (S 29 年卒)



あの時から 60 年も経過した。最近のことは忘れてしまう年頃になったが、静商在学時代のことは鮮明に覚えている。写真は、朝鮮動乱が休戦に

なった昭和 28 年秋の静商体育祭の様子である。三年生のホームルームが作成したブラカードが林立している。33HR の近藤先生、34HR 久保田先生、37HR の奥村先生、真ん中下の 36HR 中根先生など、懐かしい担任の先生方の特徴が描かれている。あと一枚の写真は、私が所属していた映画・演劇部メンバーの仮装写真だ。当時上映。されていた映画を反映して「ひめゆりの塔」「チャップリンのライムライト」「腰抜け二挺拳銃」の仮装姿である。楽しかったな。

あれから 60 年、今は毎年 7 月の関東支部総会で黒はんぺん、桜えび天ぶらを食しながら、旧友との会合を楽しんでいる。

(この1年の活動内容)

2011 年 秋コンペ (房総 CC)
2011 年 9 月 23 日・24 日

2012 年 春コンペ (川越 CC)
2012 年 3 月 23 日 (金)

2012 年 初夏コンペ
(小田原 GC 松田コース)
2012 年 6 月 8 日 (金)

2012 年 秋コンペ (房総 CC)
2012 年 10 月 6 日・7 日

2013 年 総会新年会
2013 年 1 月 26 日 (土) 予定

奮ってご参加頂きますよう、
お願い申し上げます。

相川雅美 (S48 年卒)
関東支部ゴルフ同好会は、毎年春(3月ごろ)、初夏(6月ごろ)、秋(9月ごろ)の3回、ゴルフコンペを開催しています。そして1月の同好会総会兼新年会の開催もまた恒例となっており、メンバーの中にはこの新年会を一番楽しみにしている方もいるようで、毎年大変な盛り上がりです。



秋のコンペでは、プレー日の前日から集合して、み

長小長井さんから引継ぎ、現在の田邊会長、高山幹事長体制となつてから、丸1年を経過しましたが、なるべく多くの皆さんに参加して貰えるよう、開催地、開催日程を工夫して運営してきました。

今後は、もう少し若い世代にも呼び掛けて、会の更なる活性化を図るべく、練習会やオフ会などの新しい企画も考えて行きたいと考えています。



2012 年春コンペ 優勝
後藤忠昭さん (38 年) と田邊会長 (40 年)

んなで練習したり、夜は前夜祭で交友を深めています。我がゴルフ同好会は、単にゴルフコンペに集合してゴルフを楽しむというだけでなく、メンバーの卒業年次差(最大20年ほど)を越えて「和気あいあい」に交流しております。



カラオケ同好会

会長 渡部 広志

12 月 3 日にカラオケ・ボウリング大会を開催しました。

S38 年次卒のパワーにビックリ、クラブのママ仕込みの女唄の秋山先輩、亀山・山本先輩のデュオ、長谷川先輩の野球部裏話?、締め杉本先輩によるエールと：楽しい時間があつという間に過ぎました。

今回は、初参加の方の感想を掲載します。

● 亀山 邦彦 (S38 年次卒)



ボウリングもカラオケもとても楽しませて頂きました。特に10年後輩の48年卒の女性陣のパワーには驚かされたり励まされたりして元気を貰った有意義な1日となりました。

山本 文雄 (S38 年次卒)
スタートはふるさとへタイムスリップして『ゆりかもめの町』・『旅姿三人男』……

テニス同好会 設立、顔合せ練習会

平成 23 年 11 月 22 日 (火) 11 時 30 分より都立大井テニス場において2時間、5名の参加者にて初練習を行いました。当日は、快晴でしたが北風がやや強くテニス日和とはいえない天候でしたが、ハッスルプレーも見られ和気あいあいの練習日となりました。

アフタープレーはクラブハウスにてランチとビールで発会を祝いました。テニス愛好者の同窓生のご参加をお待ちしております。参加者は、宗野支部長、34 年卒水野恵司さん、37 年卒増田数茂さん、48 年卒斉藤まり子さん、38 年卒梶山恭一の5名でした。月2回程度の練習を目標に懇親を深めていきたいと思っています。

梶山 恭一 記

SCの旗のもとに、「私たちは同じへその緒でつながっているんだ」ということを強く実感しました。校歌を歌っていったら心の底から、何かジワーと熱いものが流れま



「私たちが同じへその緒でつながっているんだ」ということを強く実感しました。校歌を歌っていったら心の底から、何かジワーと熱いものが流れま

忘年の会として大いに盛り上がりま

「カラオケ同好会」は、初めて参加した人でもやさしく迎えてくれる先輩・後輩が大勢いる素晴らしい同好会でした。



「カラオケ同好会」は、初めて参加した人でもやさしく迎えてくれる先輩・後輩が大勢いる素晴らしい同好会でした。

戸吉澤 英夫 (S38 年次卒)

ボウリングは、十数年ぶりでしたが、準優勝。その勝因は、パートナーに恵まれ、ハンデキャップを頂いたことが大きく貢献。カラオケは、ビールや幻の銘酒を味わいつつ、



「おかげでいやくくん」や「港町ブルース」などを気持ち良く歌わせてもらい、非常に楽しい一時を過ごすことができました。



ボウリングで汗を流し、カラオケで熱唱し酒と料理と野球談義で談笑、なんでもあり

ブルメ同好会

会長 山口 ひろみ

10 月 29 日 (土) 学芸大学駅前のイタリアン レストラン「トラットリア マチ」を訪ねました。参加者は11名。海の幸、山の幸、新鮮な食材をベースにした、イタリアの家庭料理の醍醐味を堪能しました。

取りあえずはビールで乾杯しましたが、その後の赤白ワインがまた格別でした。冷たいラタトゥーユがヘルシーで口当たり良く、白ワインとマッチ：これでパスタやリゾットにしても美味しそう：ピッツァは生地がモチモチのナポリ風、魚介類豊富な前菜とサラダの盛り合わせやスパゲッティ、その上ローストビーフ、締めめのリンゴのワイン煮に至るまで：

カンツォーネならぬ舌鼓が響き、高脂血症やら高血糖やら普段食事制限の人も、この時ばかりは食べて飲んで話して、陽気なイタリアンになっていました。



平成 24 年度 静商同窓会関東支部

第 22 回 総会・懇親会のご案内

平成 24 年 7 月 14 日 (土) 受付 11:00～

東京プリンスホテル ガーデンアイランド

総 会

12:00～

■平成 23 年度会計報告・監査報告 ■平成 24 年度予算審議
 ■その他

懇親会

13:00～15:30 ころ予定

「絆! ビバ静商 東京で出会う ふるさと」

■恩 師

■郷土名産品販売

■郷土料理

■パフォーマンス

熊王先生(元、弓道部顧問)

酒(磯自慢・初亀)、わさび漬、黒奴、八の字
定番の黒はんぺん・桜えび・しらす山盛り

静商音楽部♪OB & OG演奏

第二部には関東支部のメンバーも加わって

静商応援団OB & チアガールOG

今年も旗振り小父さんがやってくる



今年度の当番幹事は S34 年卒・44 年卒・54 年卒の皆さんです。

白い T シャツを着ています。

会場へのアクセス方法

JR 線・東京モノレール浜松町駅から徒歩 10 分
 都営地下鉄三田線御成門駅(A1)から徒歩 1 分
 都営浅草線大江戸線大門駅(A6)から徒歩 7 分
 都営地下鉄大江戸線赤羽橋駅から徒歩 7 分
 地下鉄日比谷線神谷町駅(3 番)から徒歩 10 分
<http://www.princehotels.co.jp/tokyo/access/index.html>



総会・懇親会の出欠回答と会費の納入方法

会 費 今年から懇親会費を千円値下げしました。

女性 7,000 円 (2,000 円 + 5,000 円)
年会費 懇親会費

男性 9,000 円 (2,000 円 + 7,000 円)
年会費 懇親会費

なお、卒業 4 年目まで無料

出欠連絡は同封の**出欠ハガキ**にて 6/30 (土)迄

会費納入方法

同封の**振込用紙**または**口座振替**(手数料無料)にて、事前にお振込みにご協力ください。

残念ながらご欠席の方も、年会費 2,000 円を同様に
お振込ください。

より多くの方のご出席と会費および寄付金納入
のご協力をお願いいたします。



静商同窓会関東支部役員名簿

役職名	卒年	氏 名	住 所
顧 問	昭 25	湯本 克巳	東京都文京区
顧 問	30	海野 昭	東京都板橋区
支 部 長	32	宗野 治義	東京都港区
副支部長	38	吉澤 英夫	東京都大田区
副支部長	37	西島 一二三	藤沢市
幹 事 長	42	小林 幸義	松戸市
副幹事長	48	青木 洋一	東京都品川区
会 計	34	鈴木 啓嗣	横浜市泉区
会計監査	32	織部 忠義	藤沢市
会計監査	38	鈴木 一晴	東京都中野区
常任幹事	31	長谷川 勉	船橋市
常任幹事	36	平井 幸雄	八王子市
常任幹事	37	増田 数茂	横須賀市
常任幹事	38	杉本 博行	東京都足立区
常任幹事	40	原 初典	町田市
常任幹事	40	田邊 勉	横浜市都筑区
常任幹事	41	小林 吉照	横浜市港南区
常任幹事	42	山口 ひろみ	さいたま市中央区
常任幹事	43	長橋 修	千葉市緑区
常任幹事	48	渡部 広志	佐倉市
常任幹事	48	相川 雅美	横浜市戸塚区
常任幹事	49	高山 房之	市川市
常任幹事	平 6	若尾 剛志	東京都練馬区

組織部会よりのお願い

組織部会 吉澤 英夫
転居など変更、また新規会員の消息があった場合
お手数ですが、氏名・住所・電話番号・卒業年次等を、
下記の各方法により、ご連絡下さいますようお願い致します。
①郵便の場合：〒145-0065 東京都大田区東雪谷 2-3-2
東急ドエルデュエット石川台 501 号

幹 事					
卒年	氏 名	住 所	卒 年	氏 名	住 所
昭 21	嶋田 安雄	船橋市	昭 42	高塚 年明	藤枝市
23	関 勉	八千代市		吉野 秀男	川崎市麻生区
24	森下 壹雄	柏市	43	富田 正巳	相模原市中央区
	内藤 義人	鎌ヶ谷市		岡本 朗子	船橋市
26	天野 覚	国分寺市	44	木村 雅美	横浜市金沢区
27	望月 健三郎	南足柄市		的野 典子	船橋市
28	知光 敬矩	東京都杉並区	45	安藤 俊	春日部市
	上山 富義	藤沢市		大石 倫義	横浜市戸塚区
29	山田 雅子	宇都宮市	46	稲葉 和男	東京都杉並区
	川村 通裕	横浜市青葉区	48	青島 正一	印西市
30	大森 泰次	越谷市		齋藤 まり子	東京都江戸川区
	古井 陸志	立川市	49	井原 治	横浜市神奈川区
31	一色 正一	川崎市麻生区		芳澤 正明	茂原市
	渡辺 忠章	大和市	50	杉本 幸雄	東京都練馬区
32	木佐森 達夫	東京都杉並区	51	萩原 克則	入間市
33	曾我 和善	東京都杉並区		井上真理子	川崎市麻生区
34	小長井 武夫	東京都渋谷区	54	中平 整子	東京都中野区
35	秋山 卓男	柏市		矢部 正志	川口市
	中川 明巳	東京都練馬区	金原 張尚	東京都大田区	
36	前山 忠弘	さいたま市緑区	55	岩出小夜子	東京都杉並区
37	大石 恒雄	府中市	56	小菅 秀子	市川市
38	梶山 恭一	西東京市	57	石井 徹	横浜市保土ヶ谷区
39	川崎 衛	調布市	58	田中 彰二	横浜市神奈川区
	青柳 秀雄	海老名市	平 6	浦田 輝	東京都台東区
40	中畑 稔	千葉市若葉区	12	村松 太一	野田市
41	松本 豊	我孫子市	16	李 慎	横浜市西区
	良知 章男	佐倉市	20	榊原 源基	さいたま市浦和区

組織部会よりお願い 組織部会 吉澤 英夫
転居など変更、また新規会員の消息があった場合
お手数ですが、氏名・住所・電話番号・卒業年次等を、
下記の各方法により、ご連絡下さいますようお願い致します。
①郵便の場合：〒145-0065 東京都大田区東雪谷 2-3-2
東急ドエルデュエット石川台 501 号
②電話及び fax の場合：03-3720-3870
③携帯電話の場合：090-4936-7063
④電子メールの場合：yff33334@nifty.com
⑤携帯メールの場合：bouya.yochi@docomo.ne.jp

(注)個人情報保護の為住所・電話番号を非表示としました。 平成 24 年 5 月現在

平成 23 年度
会 計 報 告

1. 一般会計 (平成 23 年 4 月 1 日より平成 24 年 3 月 31 日まで)

区分	項 目		実算額
収入の部	前 期 繰 越 金		176,826
	収入項目	総 会 会 費	1,317,691
		年 会 費	606,000
		寄 付 金	453,000
		義 援 金	165,333
		会報広告収入	110,000
		預金利息等	75
		小 計	2,652,099
	合 計		2,828,925
支出の部	支出項目	総 会 費 用	1,273,705
		会報発行費	404,250
		専門部会活動費	93,251
		会 議 費	235,360
		運営諸経費	203,037
		義 援 金	165,333
		小 計	2,374,936
	支 部 基 金 組 入		300,000
	次 期 繰 越 金		153,989
合 計		2,828,925	

2. 基金会計

(単位:円)

支部基金	項 目	金 額
	前年度末残高	4,000,000
	本年度繰入額	300,000
	本年度末残高	4,300,000

3. 財産目録 (平成 24 年 3 月 31 日現在)

項 目	金 額
銀行預金 (三井住友・丸の内支店 普通預金)	153,989
定額貯金 (ゆうちょ銀行 定額貯金)	4,300,000
郵便貯金 会費など振込口座	0
合 計	4,453,989

* 別途 定額貯金に利息相当額 合計 46,370 円

上記の通りご報告いたします。

平成 24 年 4 月 21 日

静商同窓会関東支部

会 計

鈴木啓嗣 ㊞

監査の結果

上記の報告に相違なく、適正である事を認めます。

平成 24 年 4 月 21 日

静商同窓会関東支部

会計監査

織部忠義 ㊞

会計監査

鈴木一晴 ㊞

会費・寄付等納入者御芳名 （敬称略：順不同：単位千円）					
会員の皆様の暖かいご支援ご協力に対しまして厚く御礼申し上げます。平成 24 年 3 月までにご納入頂いた方々のご芳名を下記の通りご報告申し上げます。 作成に当っては、誤字、記載漏れ等のないよう注意しておりますが、万一不手際がありました場合は深くお詫び申し上げます。 （注）氏名の右＊印は総会出席者を示します。					
昭 10 年 中村克己 2	昭 29 年 鈴木郭之 2	昭 34 年 桑原達夫 4 ＊	昭 36 年 前山忠弘 7 ＊	昭 39 年 曾根田正美 2	昭 43 年 小林幸二 4 ＊
昭 14 年 中村雅夫 2	昭 30 年 石貝晃司 2 ＊	昭 34 年 鈴木啓嗣 4 ＊	昭 36 年 大石康年 2 ＊	昭 39 年 山内 功 2	昭 43 年 岡本朗子 4 ＊
昭 16 年 田中幸太郎 2	昭 30 年 海野 昭 34 ＊	昭 34 年 常盤秀樹 6 ＊	昭 36 年 小長井建昭 5 ＊	昭 39 年 村瀬桂三郎 2	昭 43 年 原山妙子 2 ＊
昭 16 年 山村富春 2	昭 30 年 大森泰次 2 ＊	昭 34 年 水野恵司 2 ＊	昭 36 年 渡辺秀世 2 ＊	昭 39 年 長田 勲 10	昭 43 年 村松典子 4 ＊
昭 17 年 石垣貞一 2	昭 30 年 佐藤富士夫 7 ＊	昭 34 年 小長井武夫 2 ＊	昭 36 年 上杉隆信 3 ＊	昭 40 年 関塚仍子 9 ＊	昭 43 年 秋山八重子 2 ＊
昭 20 年 久保弥六 2	昭 30 年 成岡 武 2 ＊	昭 34 年 安池和高 2 ＊	昭 36 年 池ヶ谷捷之 5	昭 40 年 浅井弘三 2 ＊	昭 43 年 橘みちよ 2 ＊
昭 20 年 藁科練治 2	昭 30 年 古井陸志 2 ＊	昭 34 年 畑 幸男 2 ＊	昭 36 年 田中貞雄 2	昭 40 年 中畑 稔 4 ＊	昭 43 年 八木訓二 2 ＊
昭 21 年 嶋田安雄 2	昭 30 年 堀内鋒行 2 ＊	昭 34 年 平野健市 100 ＊	昭 36 年 増井博志 2	昭 40 年 原 初典 8 ＊	昭 43 年 小山幸男 2 ＊
昭 23 年 関 勲 5	昭 30 年 服部 勤 2 ＊	昭 34 年 青木利浩 2	昭 36 年 松平俊男 7	昭 40 年 鷺巣雅彦 2 ＊	昭 43 年 林 和義 4 ＊
昭 24 年 石田徳次郎 2 ＊	昭 30 年 大村光平 2 ＊	昭 34 年 秋山敏夫 2	昭 36 年 柳田 享 2	昭 40 年 石貝 篤 2 ＊	昭 43 年 鎌田和枝 4 ＊
昭 24 年 深尾 孝 2 ＊	昭 30 年 亀山勝雄 2	昭 34 年 池田峯雄 2	昭 36 年 杉山 篤 6	昭 40 年 見城正博 4 ＊	昭 43 年 小林 茂 3
昭 24 年 森下壹雄 2 ＊	昭 30 年 高木慶二 2	昭 34 年 大村隆明 2	昭 36 年 築地鋭行 2	昭 40 年 庭野美恵子 2 ＊	昭 43 年 石田愛子 5
昭 24 年 山本昭吾 2 ＊	昭 30 年 服部善男 4	昭 34 年 岡村克己 2	昭 36 年 石井清史 2	昭 40 年 小早川宏 2 ＊	昭 44 年 石井秀子 2 ＊
昭 24 年 油井徳二 4 ＊	昭 30 年 藤田 実 2	昭 34 年 菊川孝夫 5	昭 36 年 千賀正彦 2	昭 40 年 須川福男 3 ＊	昭 44 年 林 かほる 4 ＊
昭 24 年 内藤義人 2 ＊	昭 30 年 望月秀雄 2	昭 34 年 久野千加士 2	昭 36 年 筒井熙子 2	昭 40 年 神山 孝 7 ＊	昭 44 年 長山静枝 4 ＊
昭 24 年 前田俊夫 3 ＊	昭 30 年 藁科綸造 2	昭 34 年 佐藤恵英 2	昭 36 年 堤 訓子 2	昭 40 年 長田 豊 2 ＊	昭 45 年 宮原 茂 2
昭 24 年 故) 後藤一雄 10	昭 31 年 渡辺忠章 4 ＊	昭 34 年 高木美子 5	昭 36 年 大橋敬正 7	昭 40 年 安江久雄 2 ＊	昭 46 年 大野康彦 2
昭 24 年 里見勝弘 2	昭 31 年 長谷川勉 7 ＊	昭 34 年 竹内祥子 2	昭 37 年 西島一二三 4 ＊	昭 40 年 田邊 勲 2 ＊	昭 46 年 三石輝子 5
昭 24 年 増田和也 2	昭 31 年 木村明雄 2 ＊	昭 34 年 田村富男 2	昭 37 年 松田 弘 17 ＊	昭 40 年 塩澤敏雄 2	昭 47 年 青木輝美 2 ＊
昭 24 年 山本直樹 2	昭 31 年 大石幸男 2	昭 34 年 土屋堅固 2	昭 37 年 安川榮子 6 ＊	昭 40 年 森谷綾子 3	昭 47 年 河内洋子 2
昭 25 年 湯本克巳 30	昭 31 年 村上勝則 2	昭 34 年 平井シズヨ 3	昭 37 年 大石恒雄 2 ＊	昭 40 年 市川 優 5	昭 48 年 岩城一恵 4 ＊
昭 26 年 天野 覚 2	昭 31 年 紅林 勲 2	昭 34 年 深澤 功 2	昭 37 年 長谷川英樹 4 ＊	昭 41 年 松本 豊 6 ＊	昭 48 年 相川雅美 4 ＊
昭 27 年 望月健三郎 4 ＊	昭 31 年 井上孝信 2	昭 34 年 三尾規子 2	昭 37 年 増田数茂 12 ＊	昭 41 年 小林吉照 10 ＊	昭 48 年 富井商之 4 ＊
昭 27 年 斉藤 健 2 ＊	昭 31 年 笹下日出男 2	昭 34 年 藪崎公一 2	昭 37 年 鈴木 守 2	昭 41 年 森 秀男 2 ＊	昭 48 年 杉本芳子 2 ＊
昭 27 年 梅田定男 5	昭 32 年 堤 正義 2 ＊	昭 34 年 和田政治 3	昭 37 年 松田厚子 7	昭 41 年 榎本哲夫 6 ＊	昭 48 年 渡部広志 4 ＊
昭 27 年 志田 実 2	昭 32 年 宗野治義 17 ＊	昭 34 年 戸井政広 2	昭 37 年 青島幸一 2	昭 41 年 良知章男 2 ＊	昭 48 年 齊藤まり子 2 ＊
昭 27 年 鈴木孝夫 2	昭 32 年 織部忠義 8 ＊	昭 34 年 鷺野隆一 2	昭 38 年 浅場利朗 4 ＊	昭 41 年 大塚和子 2	昭 48 年 青木洋一 2 ＊
昭 27 年 山村庸太郎 2	昭 32 年 木佐森達夫 9 ＊	昭 35 年 秋山卓男 7 ＊	昭 38 年 岡村 優 4 ＊	昭 41 年 高木光子 2	昭 48 年 牛村優子 2
昭 27 年 寺田勝美 2	昭 32 年 松本一字 7 ＊	昭 35 年 金子きのえ 2 ＊	昭 38 年 梶山恭一 4 ＊	昭 41 年 藤田久恵 2	昭 48 年 及川のり子 2
昭 27 年 安田春雄 2	昭 32 年 松木交市 2	昭 35 年 坊野清之 7 ＊	昭 38 年 後藤忠昭 2 ＊	昭 41 年 坊野秀美 5	昭 48 年 小川えり子 2
昭 27 年 磯部信雄 3	昭 32 年 岩下寛治 12	昭 35 年 市川幸子 2 ＊	昭 38 年 杉本博行 7 ＊	昭 41 年 坊野やえ子 2	昭 48 年 森 隆幸 2
昭 27 年 伊東越朗 2	昭 32 年 阿井勝利 5	昭 35 年 山田昌之 2 ＊	昭 38 年 鈴木一晴 12 ＊	昭 41 年 青柳裕子 2	昭 49 年 高山房之 12 ＊
昭 27 年 上田伸子 2	昭 32 年 伊藤雅章 2	昭 35 年 小林一男 2 ＊	昭 38 年 吉澤英夫 22 ＊	昭 41 年 吉田武男 2	昭 49 年 大塚典子 3 ＊
昭 27 年 朝比奈一郎 2	昭 32 年 植野大次郎 2	昭 35 年 芹澤輝俊 5 ＊	昭 38 年 佐藤 亘 5 ＊	昭 41 年 福石 守 10	昭 49 年 佐合陽子 5
昭 28 年 上山富義 2 ＊	昭 32 年 山島利一 2	昭 35 年 中川明巳 2 ＊	昭 38 年 山本文雄 12 ＊	昭 41 年 秋山康雄 4	昭 49 年 手塚文子 2
昭 28 年 鈴木基之 2	昭 32 年 藤田攻三郎 2	昭 35 年 小澤廣記 2 ＊	昭 38 年 小澤昌明 12	昭 41 年 河森 誠 3	昭 49 年 内田 晃 2
昭 28 年 藁科年衛 2	昭 32 年 川村潤司 2	昭 35 年 鈴木祐輔 2	昭 38 年 花村磯男 2	昭 41 年 鈴木猪久男 4	昭 49 年 佐竹清美 2
昭 29 年 浦山 實 2 ＊	昭 33 年 秋山賢司 4 ＊	昭 35 年 鈴木春恵 5	昭 38 年 福嶋春子 2	昭 42 年 小林幸義 7 ＊	昭 49 年 室井千歳 2
昭 29 年 宮川欣也 5 ＊	昭 33 年 曾我和善 5 ＊	昭 35 年 青木正和 2	昭 38 年 増田 実 2	昭 42 年 山口ひろみ 4 ＊	昭 50 年 増田哲雄 2 ＊
昭 29 年 小坂悦男 2 ＊	昭 33 年 鈴木五郎 4 ＊	昭 35 年 小島利明 2	昭 38 年 松本晃治 2	昭 42 年 山田鐘作 2 ＊	昭 50 年 杉本幸雄 5
昭 29 年 永井賢雄 4 ＊	昭 33 年 青野 勝 2	昭 35 年 宗野賢次 2	昭 38 年 吉田茂夫 2	昭 42 年 高塚年明 5 ＊	昭 54 年 金原張尚 2 ＊
昭 29 年 小松英夫 2 ＊	昭 33 年 入野克彦 2	昭 35 年 杉山睦朗 2	昭 38 年 互井まり子 2	昭 42 年 吉野秀男 2 ＊	昭 54 年 矢部正志 2 ＊
昭 29 年 鈴木正子 4 ＊	昭 33 年 大橋善悟 10	昭 36 年 鷺野喜八郎 2 ＊	昭 38 年 都築勝義 7	昭 42 年 古知 潔 2	昭 54 年 大沼弘明 2 ＊
昭 29 年 山岸光男 2 ＊	昭 33 年 薩埵英司 2	昭 36 年 海野 治 7 ＊	昭 39 年 河田正勝 4 ＊	昭 42 年 寺尾八郎 2	昭 54 年 山中貴司 2 ＊
昭 29 年 興津高里 4 ＊	昭 33 年 佐野勝一 2	昭 36 年 増田勝江 4 ＊	昭 39 年 杉山千之 2 ＊	昭 42 年 高山康明 2	昭 57 年 岡村義則 2
昭 29 年 山田雅子 4 ＊	昭 33 年 三浦 斌 2	昭 36 年 前田雄幸 3 ＊	昭 39 年 青柳秀雄 4 ＊	昭 42 年 橋本孝一 5	昭 57 年 田中哲哉 2
昭 29 年 原田雄吉 5	昭 33 年 野呂瀬誠子 2	昭 36 年 平井幸雄 4 ＊	昭 39 年 遠藤利雄 2 ＊	昭 43 年 岩下喜美枝 4 ＊	平 6 年 若尾剛志 4 ＊
昭 29 年 榊原貞夫 2	昭 33 年 上條佐恵子 7	昭 36 年 土岐守行 2 ＊	昭 39 年 川崎 衛 7 ＊	昭 43 年 佐藤秀子 4 ＊	平 12 年 村松太一 4
昭 29 年 三森光雄 2	昭 33 年 森田幸子 2	昭 36 年 松下 孝 2 ＊	昭 39 年 檜林 勝 2 ＊	昭 43 年 富田正巳 2 ＊	平 16 年 李 慎 2 ＊
昭 29 年 上野山三平 2	昭 33 年 竹内 清 2	昭 36 年 横島啓枝 2 ＊	昭 39 年 杉山賢次 2 ＊	昭 43 年 長橋 修 4 ＊	会費・寄付金合計 304 人分 1.203 千円 (会費606、寄付597)
昭 29 年 安池 貢 2	昭 33 年 本間好武 2	昭 36 年 高木英雄 2 ＊	昭 39 年 杉山俊夫 2	昭 43 年 瀧浪利信 5 ＊	



ISO9001(品質)取得
HI-KES(環境)取得

(株)鈴木塗装工務店

取締役社長 鈴木 守(S37年卒)

〒120-0022 足立区柳原 2-30-14

TEL: 03-(3882)2828 FAX: 03-(3879)0420

URL: <http://www.suzukitosou.com>

アイデア創出から、特許・商標・意匠出願、知財活用まで徹底支援！
技術、デザイン、ブランドの知財複合戦略もおまかせ下さい。

今知的財産事務所

弁理士(登録番号15168) 今 智 司

弁理士(登録番号13202) 今(吉澤)和希子※

〒105-0004 東京都港区新橋6-20-4 新橋パインビル 5階

Tel: 03-6809-1485 Fax: 03-6809-1486

E-mail: s-kon@kon-ip.jp URL: <http://kon-ip.jp>

※吉澤英夫(S38年卒)の娘

LOCO-MOTION
Box Lunch's Kitchen

仕出し弁当・ロケ弁・ケータリングロコモーション

★週刊女性ロケ弁特集掲載
[日本テレビスター★ドラフト会議]
のお弁当として紹介されました

★テレビ朝日放映
[ストライクTVロケ弁SP]
ストライクを頂きました

杉山義己 S54卒
杉山正乃(旧姓竹下) S56卒

Tel: 03-5799-4813
東京都世田谷区桜 3-2-10-102
<http://loco-kitchen.com>

Trattoria MACHI

イタリア家庭料理(トラットリア マチ)

新鮮な海の幸・季節野菜

☆ 東急東横線学芸大学東口駅前(目黒区鷹番 3-3-19)

☆ 電話 03-3710-3984

☆ 定休日 第1・第3水曜日

☆ 営業時間 LUNCH 11:40~14:30
DINNER 17:30~22:00(ラストオーダー)

但し日曜・祝日は 17:30~21:30(ラストオーダー)

テレビ東京「出沒アド街ック天国」の学芸大学編で、
第六位として紹介された、時々有名人も来店される、
こじんまりしたイタリアンレストランです。

(昭和32年卒 宗野 治義の娘の店です)

税理士法人 A T T

〒103-0027
東京都中央区日本橋 1 丁目 7 番 4 号
第一正明ビル

TEL 03-3278-8381
FAX 03-3278-8629

代表社員 税理士 高山 房之(S49年卒)

家族楽園
KAZOKU RAKUEN

農に触れ、よく遊び、よく学び、
家族と歩いてみませんか

農園(共同または個人)参加募集中!

家族楽園 検索

Vintage Resort ワインディングリゾート株式会社

〒408-0103 山梨県北杜市須玉町江草 3072
平井 幸雄(S36年卒)の
家族(義兄と次男)が経営

てんぷら 天ぷら

品川区大崎 3-5-2 JR大崎駅
エステージ大崎 107 西口徒歩3分

電話 03-3779-3895

日曜・祭日・第3土曜日定休

営業時間 ランチ 11:30~13:30
夕食 17:00~22:00

あつあつの
てんぷら
新鮮な刺身料理

河田 正勝(S39年卒)

有限会社 印刷工房

〒234-0054 横浜市港南区港南台1-16-5-101

TEL&FAX 045-835-0421

eメール insatukobo@nifty.com

小林吉照(昭和41年卒業)

自然景観に恵まれた湯の里

湯宿 **嵯峨沢館**

〒410-3209
静岡県伊豆市門ノ原400-1

TEL 0558-85-0115
<http://www.sagasawakan.com/>

植田 幸子(S38年卒)